

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、17～23℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり38トンの水揚げで、前週の1.8倍（前年を上回った）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり0.03kgの水揚げ（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり29kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり12kgの水揚げで、前週の43%（前年を下回った）。
- 定置網――対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり86kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり61kgの水揚げ。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（11/23～11/29の7日間）沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆西で操業するも荒天の為、各船入港。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～能登沖～佐渡沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）1日延1隻、総計22箱。ケンサキイカを漁獲、魚体は2～3立。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>